

第6回パーソントリップ調査の概要

1 パーソントリップ調査とは

パーソントリップ調査（パーソン=人、トリップ=動き）とは、「いつ」「どこから」「どこまで」「どのような人が」「どのような目的で」「どのような交通手段を利用して」移動したのかについて調査し、人の1日のすべての動きをとらえるものです。

2 調査の対象

調査日：令和3年9月～11月

平日・休日各1日

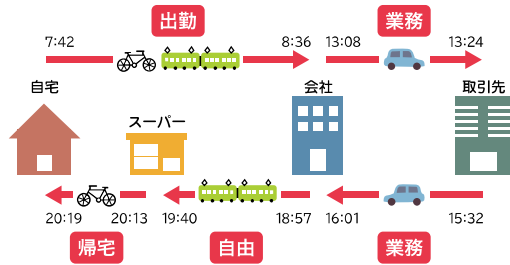
調査対象者：近畿圏全域（2府4県）にお住まいの5歳以上の方を無作為に抽出

調査手法：郵送配布、Web・郵送回収

3 第6回調査の特徴

- ①Web回収を中心とした調査手法の拡大
- ②スマートフォンを活用したアプリによる回答手法の導入など、新たな取り組みを実施しています。また、新型コロナウイルス感染症拡大による外出状況の変化（頻度や移動手段の変化）を捉える補完調査をあわせて実施しました。

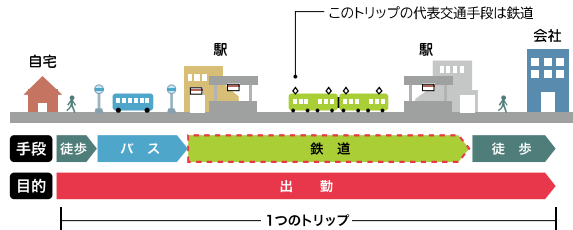
人の1日の動きの例



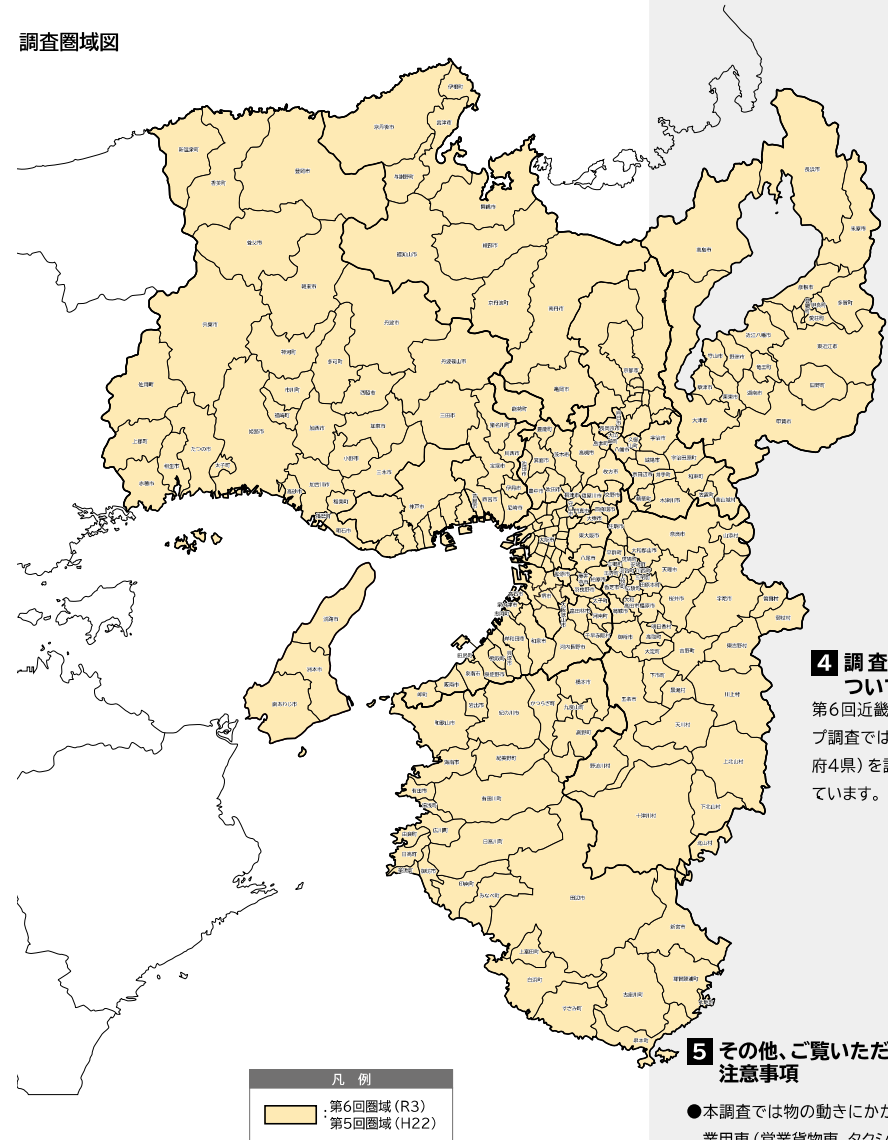
用語の説明

夜間人口	対象地域における居住人口です。
外出人口	居住人口のうちある1日に外出した人口です。
トリップ	人がある目的をもって「ある地点」から「ある地点」へ移動する単位で、移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数えます。
トリップエンド	1人1人の動きを「トリップ」というのに対し、1つのトリップの出発側と到着側をそれぞれ「トリップエンド」といいます。
トリップの目的	出勤・登校・自由・業務・帰宅に分けられます。自由は買物、食事、レクリエーション等の生活関連のトリップ。業務は打合せ・会議、販売・配達、作業、農作業等の仕事上のトリップです。
発生集中量	ある地域内に出発地または到着地を持つ人の移動の合計で、「トリップエンド」を集計したものです。
生成量	ある地区内に住んでいる人が1日に行うトリップの総数です。
生成原単位	ある地区内に住んでいる人が1日に行う平均のトリップ数です。
外出率	ある1日に外出した人数の全人口（夜間人口）に対する割合です。
交通手段分担率	ある交通手段のトリップ数の全交通手段のトリップ数に占める割合です。
代表交通手段	鉄道、バス、自動車、二輪（自転車、原付、自動二輪車）、徒歩、その他（飛行機や船等）があり、1つのトリップの中でいくつかの交通手段を用いている場合は主な交通手段を代表交通手段としています。 鉄道→バス→自動車→二輪（自転車、原付、自動二輪車）→徒歩の順で、最も優先順位の高いものとしています。 （例：会社への出勤トリップ及び代表交通手段（この場合は鉄道））

1つのトリップ及び代表交通手段の例



調査圏域図



4 調査対象圏域について

第6回近畿圏パーソントリップ調査では、近畿圏全域（2府4県）を調査対象圏域としています。

5 その他、ご覧いただく上での注意事項

- 本調査では物の動きにかかわる貨物車や営業用車（営業貨物車、タクシーなど）の運行に関する交通は調査の対象外としています。
- 各図表の合計値や伸び、構成比の値は四捨五入のため、内訳数値から算出される値と一致しない場合があります。